

**1 単元名「わたしの住むまちはどんなまち」****2 単元について**

本単元は、新学習指導要領の3年生の内容（1）ア「身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。」を主なねらいとする。

指導においては、身近な地域として、児童が通う附属小学校の周辺を身近な地域として取り上げ、まちの様子や土地の使われ方などについて、学校の屋上からの観察や写真資料の読み取り、探検活動を通して、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などに着目しながら、学校の周りの地域の様子は場所によって違いがあることを理解できるようにしていく。

**3 単元の目標と評価規準****(1) 単元の目標**

学校の周りの地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などに関心をもち、観察したり、地図や写真などの資料を活用したりして調べたことを絵地図や白地図にまとめて、地域の様子を地形的な条件と関連付けたり、分布の様子を相互に比較したりしながら、場所によって違いがあることを理解できるようにする。

**(2) 単元の評価規準**

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
ア 学校の周りの地域の特 色ある地形、土地利用の様 子、主な公共施設などの場 所と働き、交通の様子など に関心をもち、意欲的に調 べ、学校の周りの地域の様 子の特色やよさを考えよ うとしている。	ア 学校の周りの地域の土 地利用の様子を地理的な 条件と関連付けたり、分布 の様子を相互に比較した りして、地域の様子は場所 によって違いがあること を考え適切に表現してい る。	ア 観点にもとづいて観察 したり、地図や写真などの 資料を活用したりして、学 校の周りの地域の様子に ついて必要な情報を集め て読み取り、調べたことを 主な地図記号や四方位な どを用いて絵地図や白地 図にまとめている。	ア 学校の周りの地域の特 色ある地形、土地利用の様 子、主な公共施設などの場 所と働き、交通の様子など は場所によって違いがあ ることを理解している。

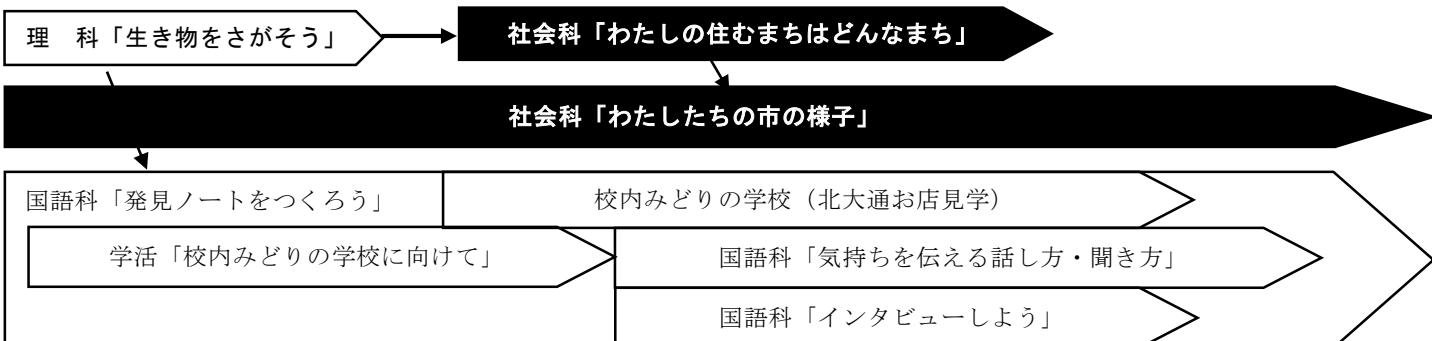
**4 本単元において育みたい自律性と、働かせる「見方・考え方」**

社会的事象の特色や意味を見出し、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会とのかかわり方を考えていこうとする姿。



○地域の様子を地形的な条件と関連付けたり、分布の様子を相互に比較したりしながら考える。

- ・土地の様子、建物の様子、交通の様子などに着目し、分布の特色について考える。

**5 学級・学年経営年間プログラムとのかかわり**

## 6 学びの過程のデザイン（全15時間）

学習活動	一貫した主体的学びをつなぐ手立て
1~4 附属小学校の周りの様子について関心をもち、学習問題をつくり、探検活動に向けた学習計画を立てる。 <b>関ア</b>	<p>【個の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋上からの観察や写真資料を読み取らせることにより、目立つ建物があることに着目させ、附属小学校の周りの様子について疑問をもち、予想しながら追究しようとする姿を引き出す。</li> </ul>
【見方・考え方を働かせる】 ・生活科の学習や既知の生活体験をもとに、自分なりの疑問や予想を確かめる方法の見通しをもつ。	
附属小学校のまわりの様子はどのようにになっているのだろう？	
5~13 「まちたんけん」の活動を通して、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などを観察・調査したり、地図にまとめたりして方角ごとの特色について考える。 <b>技ア・知ア</b>	<p>【個の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異動した先生に附属小学校の周りの地域の様子を伝えるために、他の地区の様子について写真資料を通して確認することで、目立つ建物（学校・店・病院など）や交通の様子（バス停・道路）など探検活動の見通しをもつことができるようになる。</li> </ul>
【見方・考え方を働かせる】 ・探検活動を通して一人ひとりが調べたことをグループで話し合い、方角ごとの特徴を比べながら考える姿につなげる。	
【見方・考え方を高める】 ・方角ごとの特徴を比べながら考えることで、地域の様子の共通点や相違点を見つけることができるようになる。	
【個の内面化】 <b>I</b> ・探検学習を振り返り、地域の様子について自分が調べてきたことをもとにグループで交流し、どのようなことが発見できたのか問い合わせことで、探検活動の視点について振り返ることができるようになる。	
14~15 自分たちが作った絵地図と空中写真の様子を見比べて、附属小学校の周りの様子は場所によってちがいがあることについて考える。 <b>思ア・技ア・知ア</b>	<p>【個の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵地図に表した記号や色分けした部分に着目させることにより、方角ごとの特徴を予想する。</li> </ul>
【見方・考え方を働かせる】 ・絵地図と空中写真を見比べさせてすることで、共通点や違いを確かめられるようになる。	
【見方・考え方を高める】 ・釧路市全体の空中写真を提示することで、建物や自然の分布の仕方に着目して、附属小学校の周りの様子を捉え直すことができるようになる。	
【個の内面化】 <b>I</b> ○附属小学校のまわりの様子について、屋上からの観察や写真資料の読み取り、探検活動で調べてきたことを比較する活動を通して、これまでの学習過程を振り返る児童の姿につなげる。 ○校内みどりの学校で行く北大通周辺は、どのような様子か予想してみよう。	

## 7 本時について（15／15時間目）

### (1) 本時の目標

完成した絵地図を活用して附属小学校の周りの様子について話し合い、地域の方角ごとの様子の違いを見つけ、場所によって違いがあることを表現することができる。

### (2) 一貫した主体的学びを「つなぐ」ために（個の内面化）

- 完成した絵地図と空中写真を見比べることで、地域の様子をよりわかりやすくさせる。
- 方角ごとの特徴を比較することで場所の多様性に気づかせ、「市全体ではどうなっているのか」という意識をもつことができるようとする。

### (3) 本時の展開

学習活動	主な働きかけ・手立て	【評価】 個に応じた指導（▲）
1 完成した絵地図をもとに、地域の様子についてわかっていることを、方角ごとにメモする。  ・北には、緑（自然）が多い。電波塔があった。 ・西と南は住宅が多い。学校も2つあった。 ・東も住宅が多い。店や病院もある。	【個の確立】  □探検活動を振り返ったり、絵地図で確認したりして、附属小学校の周りの地域には何があったか確認する。	【発言】
○附属小学校のまわりの様子はどのようにになっているのだろう？		
2 完成した絵地図と空中写真を見比べ、附属小学校のまわりの地域の様子を確かめる。  ・北方面には本当に山が見える ・住宅や団地が思っていたよりもたくさんある ・建物の大きさの違いもわかる。 ・探検できなかつたところの様子もわかる。	【見方・考え方を働かせる】  □絵地図と空中写真を見比べさせてることで、共通点や違いを確かめられるようにする。	【ワークシート】  ▲探検活動で使用した地図をもとに、方角ごとの目立つ建物などを確認する。
3 方角ごとのメモをもとに、キャッチフレーズを考える。  ・「自然が多い北方面」 ・「住宅が集まる西・南方面」 ・「公共施設が多い東方面」 ・「店が多い東方面」		【ワークシート】  ▲「多い・少ない」などのわかりやすい特徴から考えるよう促す。
4 銚路市全体の空中写真を見て、附属小学校のまわりの様子について捉え直す。  ・もっと自然が多い場所があるようだ ・住宅が集まっているところが他にもある ・川や線路が見える	【見方・考え方を高める】  □銚路市全体の空中写真を提示することで、建物や自然の分布の仕方に着目して、附属小学校の周りの様子を捉え直すことができるようになる。	【ワークシート】
5 これまでの学習を振り返り、校内みどりの学校で行く北大通周辺の様子を予想し、どのようなところに着目したらよいか自分の考えを書く。  ・多い建物や少ない建物を調べる。 ・目立つ建物が何か調べる。 ・自然があるかどうか調べる。 ・他の場所と比べながら調べる。	【個の内面化】 I  □附属小学校のまわりの様子について、屋上からの観察や写真資料の読み取り、探検活動で調べてきたことを比較する活動を通して、これまでの学習過程を振り返る児童の姿につなげる。 ○校内みどりの学校で行く北大通周辺は、どのような様子か予想してみよう。	